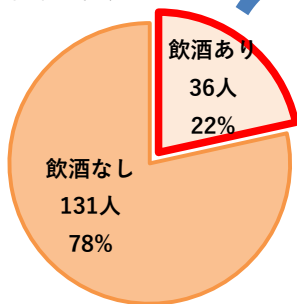




歩行者の交通事故防止 ～飲酒時は要注意～

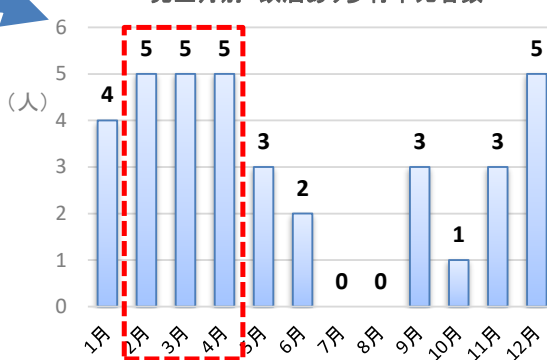
広島県内の歩行中交通事故死者数【平成28年～令和2年の合計】

飲酒の有無別
歩行中死者数



※第3当事者以下の歩行中死者を除く。

発生月別 飲酒あり歩行中死者数



歩行中死者の約2割に飲酒があります。死亡事故のほとんどは夜間に発生しており、**夕食や宴会等の帰り**で多く発生しています。2～4月の発生が多く、注意が必要です。

飲酒あり歩行者の主な死亡事故事例

◎ 赤信号無視で道路を横断！！



信号機のある横断歩道で、歩行者が赤信号で横断中の死亡事故が多く発生しています。

◎ 道路上の寝込み！！



路上寝込みの死亡事故の多くに、歩行者の飲酒が認められます。

交通事故を起こさない、被害に遭わないために



～お酒を飲んで帰る時は～

- ◆ 自身の酒量をわきまえ、飲み過ぎない。
- ◆ 信号を守る、車道を歩かない等交通ルールを守る。
- ◆ 深酔いした人は自宅まで送り届けるなど、同席者は最後まで面倒を見る。

～車を運転する方は～

- ◆ 「何もないだろう」ではなく「かもしれない運転」を心がける。
- ◆ 夜間は 昼間より速度を落として慎重に運転する。
- ◆ 対向車や先行車がない場合は上向きライトを活用する。

横たわっている人を見かけたら「110番通報」をお願いします。その通報で救われる命があります。